

国 際 交 流

本校は1991年からアメリカ北西部ワシントン州のシアトル近郊コピントン市にあるケントウッド高校との交流を続けてきております。ケントウッド高校と本校との出会いは1991年、本校体育教諭（当時）が3週間、ケントウッド高校で柔道の指導を行ったことから始まりました。その後、当時のジョージ・ウィルソン校長から講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の書「自他共栄」が本校に寄贈され（柔道場に掲げられています）、更に柔道部OBの招待でウィルソン校長が来校された際に、両校の「交流」が合意されました。以後、相互に学校を訪問する形で交流が進められています。



毎年3月末の約8日間、2年生5名と付添い教員1名が同校を訪問、平日はケントウッド生とともに授業を受け、学校生活を体験し、「日本語」の授業では日本文化のプレゼンを行うなど、日本語学習のお手伝いもしています。また、夕刻や週末には、それぞれのホストファミリーの一員として異文化での家庭生活を味わうほか、市長への公式訪問や他の3つの州立高校との交流も実施、観光旅行では味わえない貴重な体験をしています。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）



一方、7月には、ケントウッド生が2週間日本を訪問、本校生の家庭にホームステイしながら、「北野高校生」としての1週間の体験をしています（もう1週間は阿武野高校で過ごします）。



（令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

また、本校は平成31年（令和元年）から文部科学省指定のWWL事業の拠点校になり、その事業の一環としての海外研修も実施しています。目的は様々なバックグラウンドを持つ海外の人と交流し、WWLコース課題研究の知見を得ることです。1年生向けに3月に行われるオーストラリア研修と台湾研修（令和元年度及び令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）、2年生向けに7月に行われるハワイ研修と東南アジア研修（令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止）がWWLの海外研修です。



ますます国際化しつつある世界の中で、たくさんの北野高校の生徒が国際交流の機会を持ち、広い視野と寛容な心を持ってほしいと国際交流活動を行っております。